※ JIS A 4201:2003 の規定に基づく

雷保護設備凡例

番号	名　　称
1	アルミ棒　12φ　※品番外製品 アルミ棒取付金物　自在バンド用　※品番外製品
2	アルミ線　2.0×25 アルミ線取付金物 A-接着用　B-丸馳折版用　C-ALC板用
3	T型接続端子
4	保護管(VE28) 保護管取付金物　A-ALC板用　B-コンクリート用
5	接地端子ボックス　露出用　2端子
6	銅線　2.0×13
7	銅線接続クランプ
8	銅板　1.5t×600×600(接地極)

保護レベルに応じた受雷部の配置

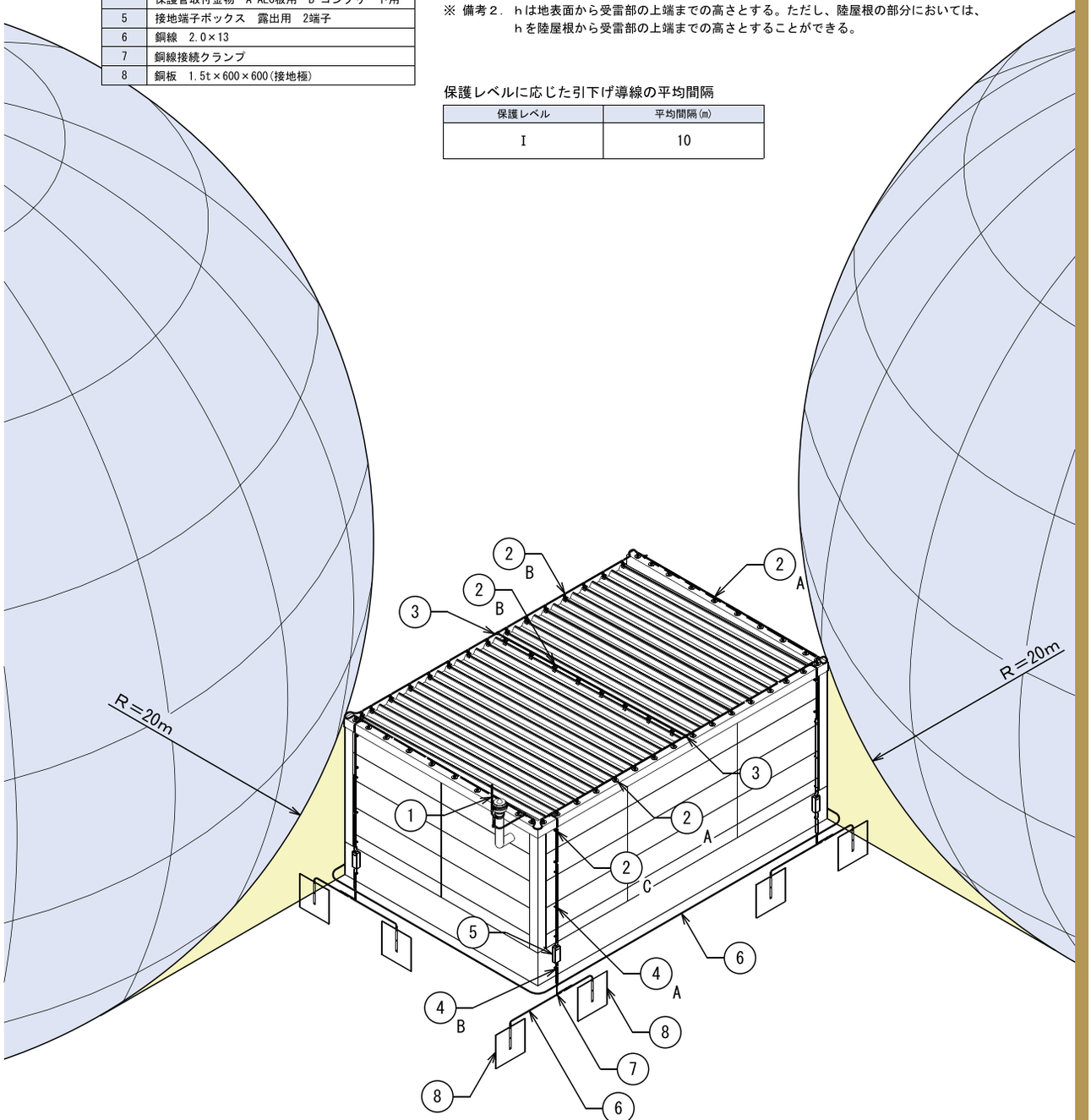
保護レベル	回転球体法 R（m）	保護角法 h（m） 20 α（°）	30 α（°）	45 α（°）	60 α（°）	60超過	メッシュ法幅（m）
I	20	25	*	*	*	*	5

＊ 回転球体法及びメッシュ法だけを適用する。

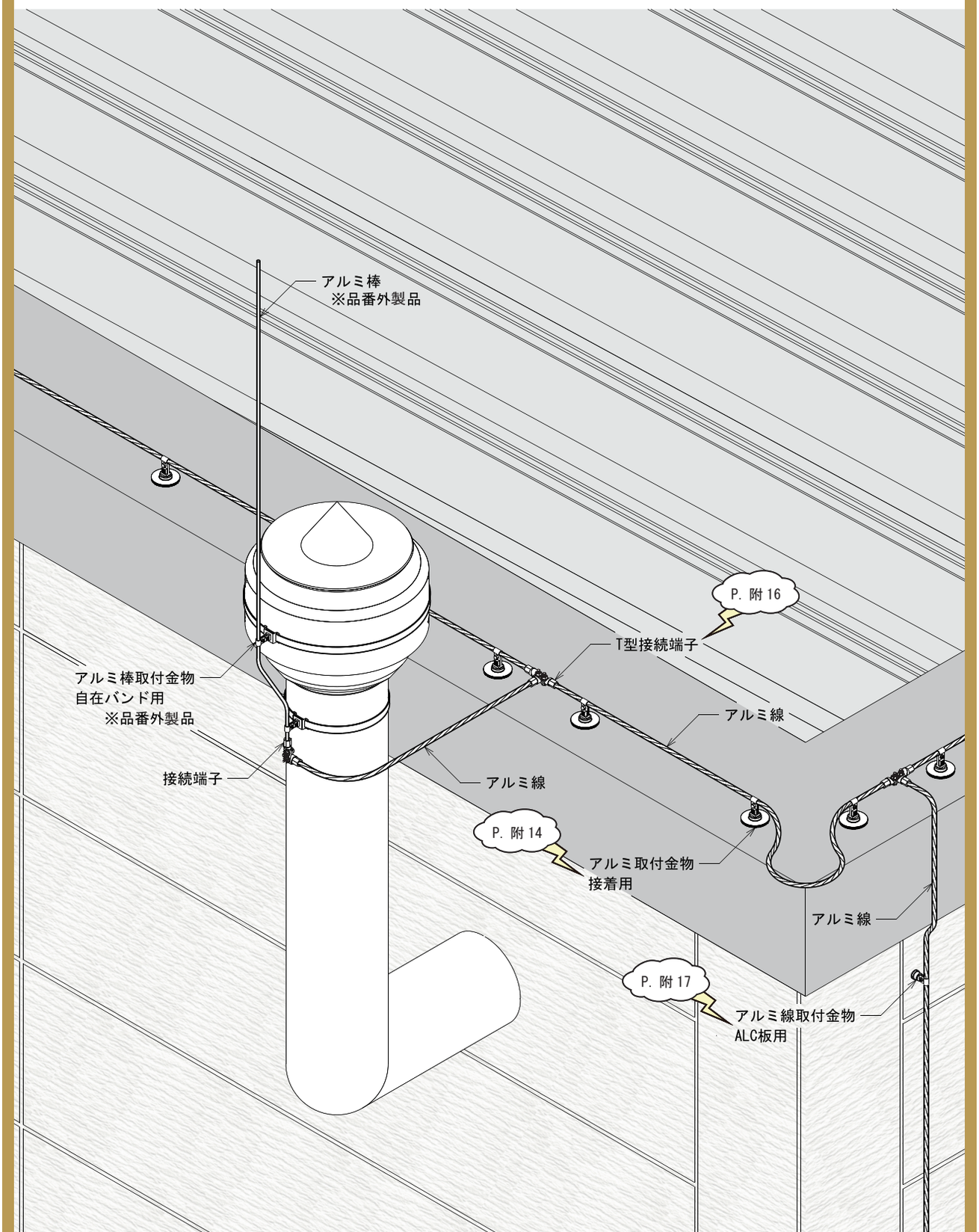
※ 備考１．Rは、回転球体法の球体半径。
※ 備考２．hは地表面から受雷部の上端までの高さとする。ただし、陸屋根の部分においては、hを陸屋根から受雷部の上端までの高さとすることができる。

保護レベルに応じた引下げ導線の平均間隔

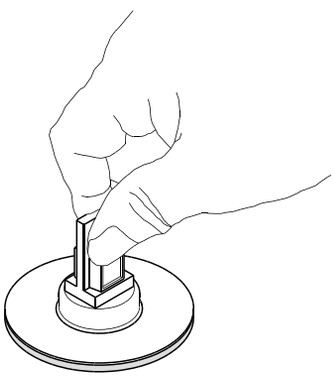
保護レベル	平均間隔(m)
I	10



01
突針
カップリング
支持管
支持管
取付金物
支持管
取付台
支線
02
銅線
銅帯
03
アルミ線
アルミ帯
04
保護管
端子ボックス
05
接地極
標示板
06
附属資料
07
施工参考例



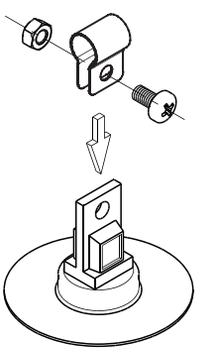
（１）取り付け間隔は、水平0.6～1m以内とする。
取り付け面の油・水分等を取り除く。
底面に接着剤の分量に注意して塗布する。



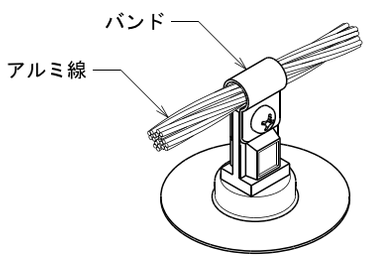
（２）取り付け面と底面に、接着剤がしっかりと馴染むよう、
押さえる。

ポイント

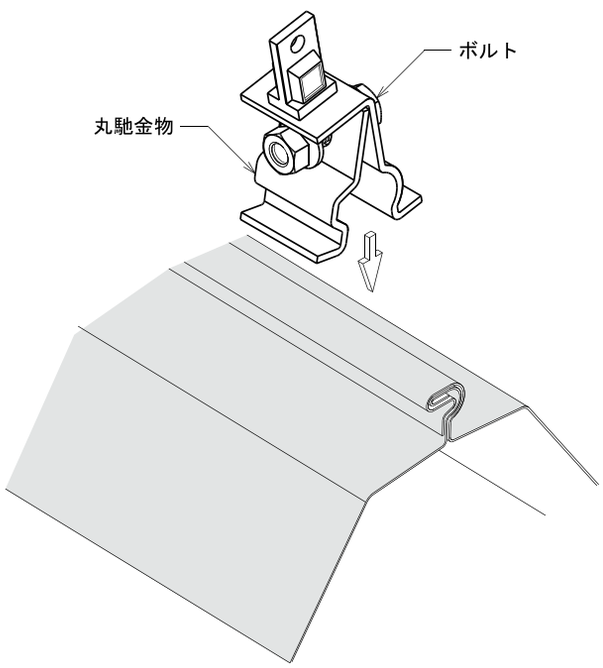
・取り付け面はよく乾いているか確認する
・金物は一直線に並んでいるか確認する



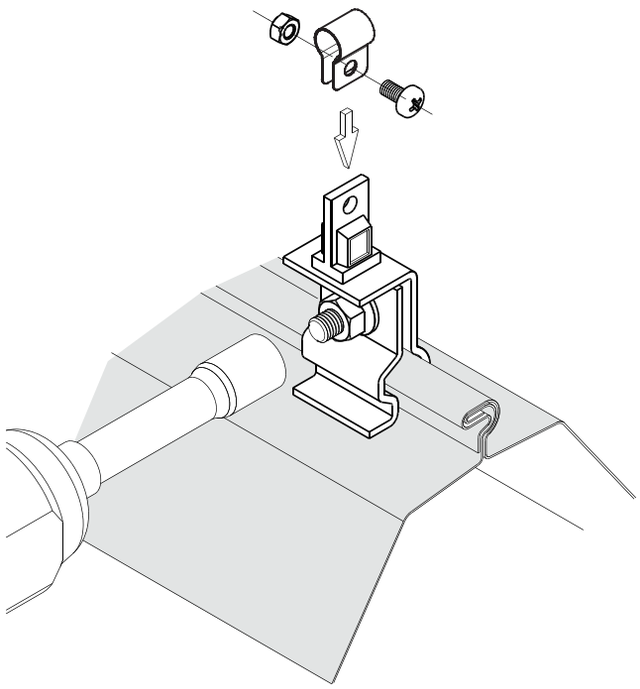
（３）はみ出した接着剤をきれいに整える。



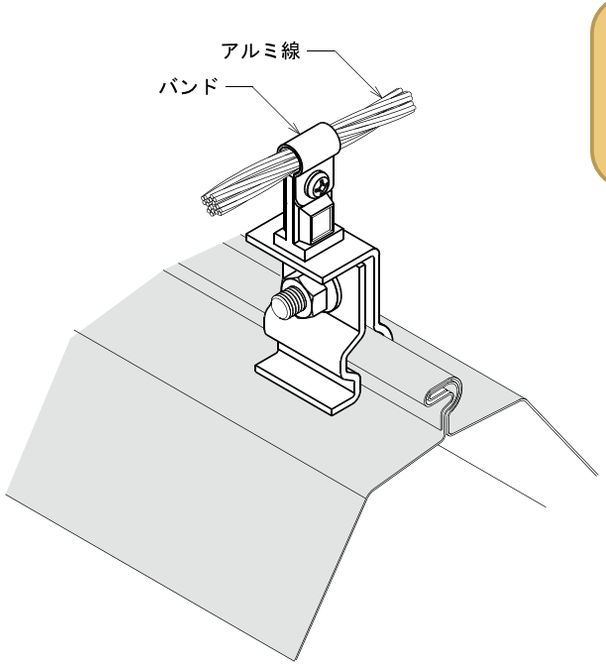
（４）アルミ線をバンドにて固定する。
配線作業は、金物接着後、1～2日の養生期間を
空けてから施工する。



（１）取り付け間隔は、水平0.6～1m以内とする。
丸馳金物のボルトを緩め、折版の馳部に被せる。



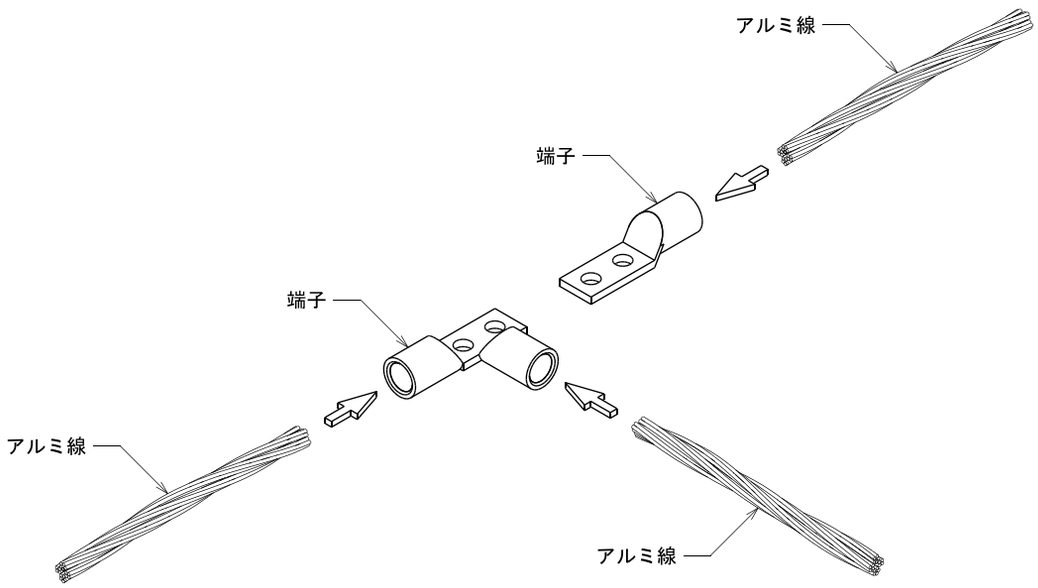
（２）丸馳金物をインパクトドライバー等で締め付ける。



（３）アルミ線をバンドにて固定する。

ポイント

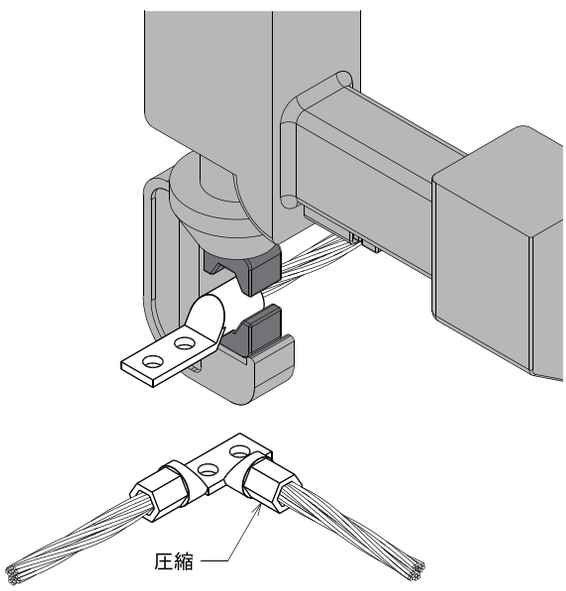
・施工前に、折版馳部が本締めされていることを確認する
・配線方向に注意する



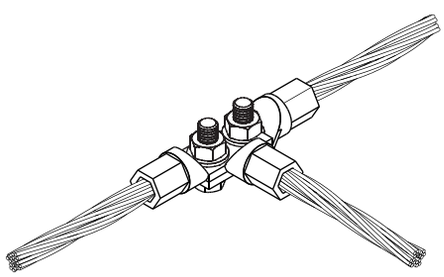
（１）アルミ線の分岐方位を確認する。
　　端子挿入の長さを考慮し、アルミ線を切断する。

ポイント

・取り付け長さをよく考慮し、アルミ線の切断を行う
・端子のボルトの緩みの有無を確認する



（２）切断したアルミ線を端子に挿入し、専用の工具で圧縮する。
　　圧縮する際、端子からアルミ線が抜けないように注意する。



（３）端子をボルトで固定する。

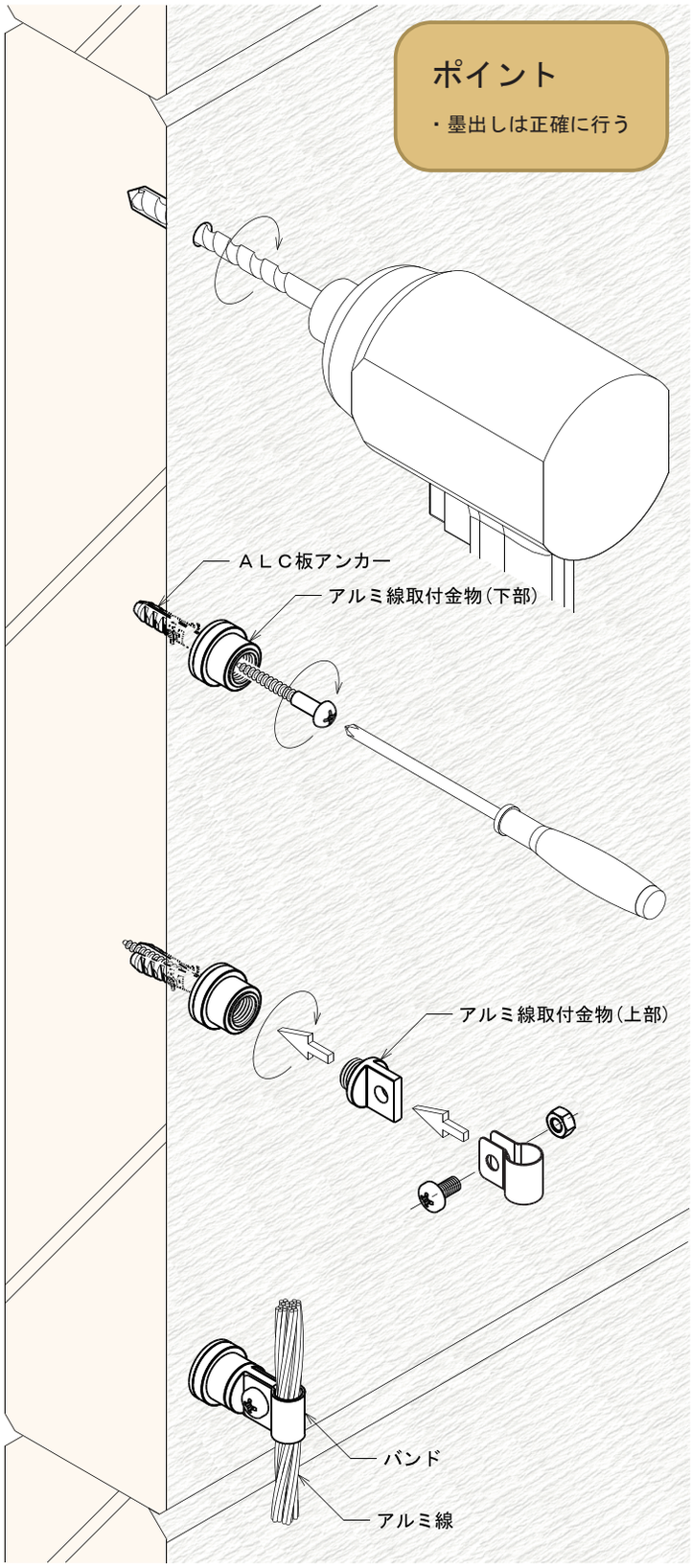
01 突針
カップリング
支持管
支持管 取付金物
支持管 取付台
支線
02 銅線
銅帯
03 アルミ線
アルミ帯
04 保護管
端子ボックス
05 接地極
標示板
06 附属資料
07 施工参考例

（１）取り付け間隔は、垂直1～1.5m以内とする。
外壁仕上げ完了後、取り付け位置に、下穴を開ける。

（２）ダストポンプ等を使用して孔内の切粉を除去する。
孔にコーキング剤を塗布し、ＡＬＣ板アンカーにより、アルミ線取付金物(下部)を取り付ける。

（３）アルミ線取付金物(上部)を取り付ける。

（４）アルミ線をバンドにて固定する。

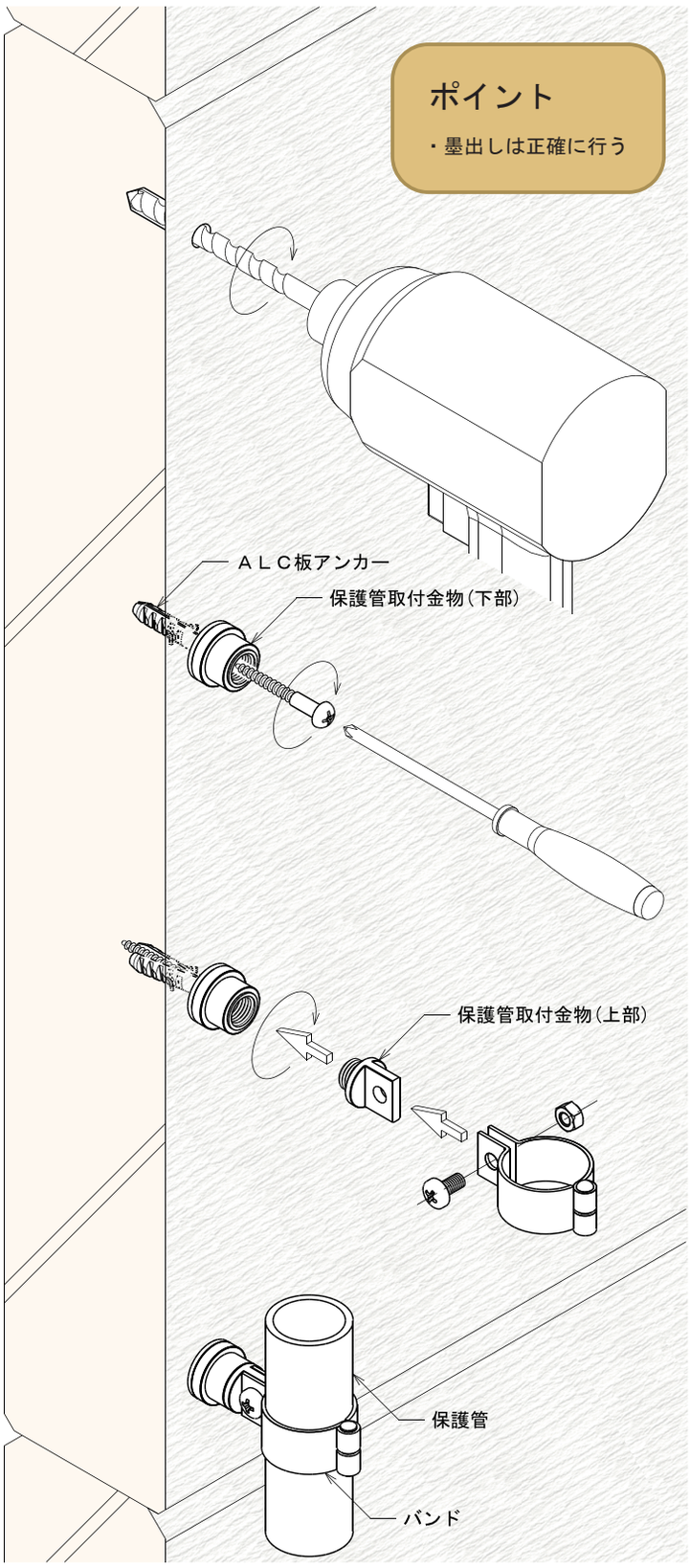


（１）取り付け間隔は、垂直1～1.5m以内とする。
外壁仕上げ完了後、取り付け位置に、下穴を開ける。

（２）ダストポンプ等を使用して孔内の切粉を除去する。
孔にコーキング剤を塗布し、ＡＬＣ板アンカーにより、保護管取付金物(下部)を取り付ける。

（３）保護管取付金物(上部)を取り付ける。

（４）保護管をバンドにて固定する。

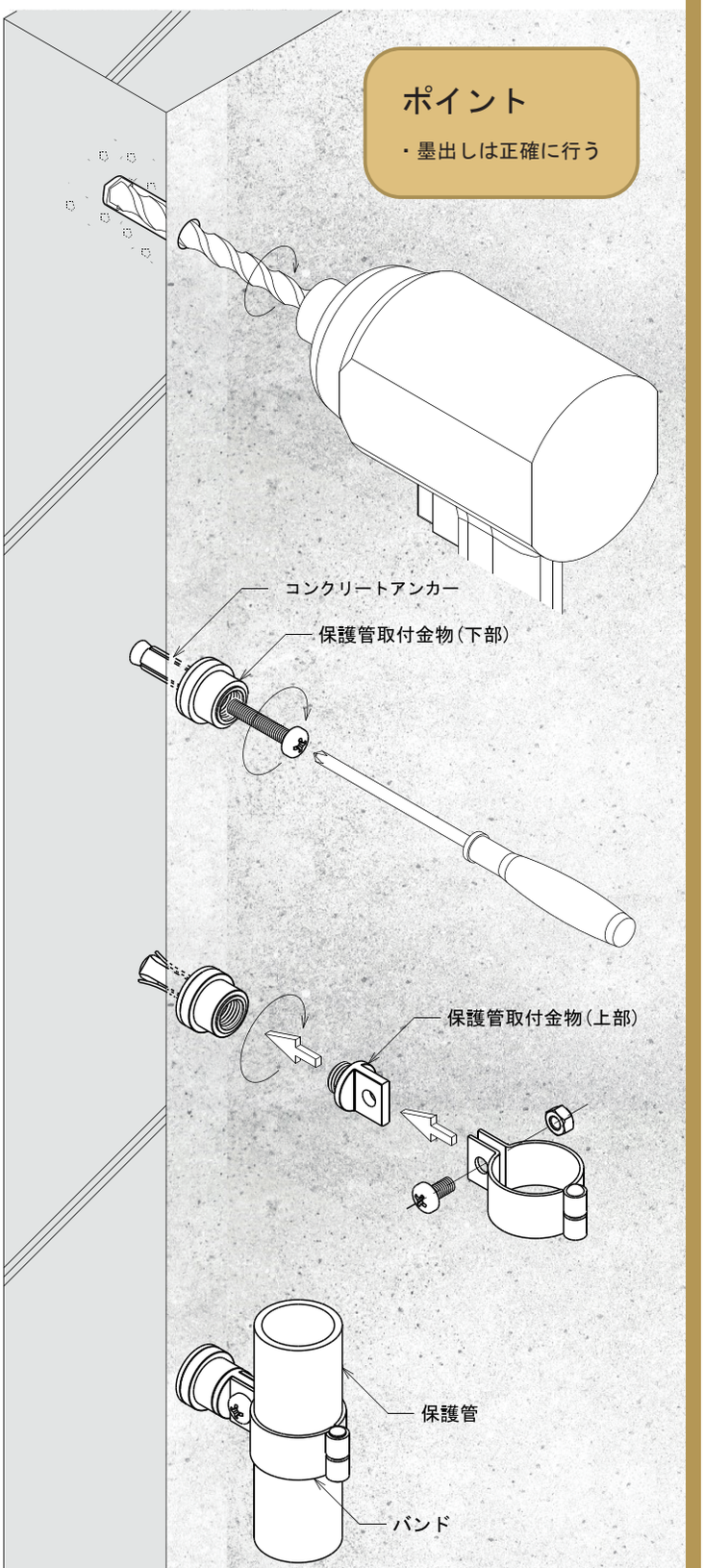


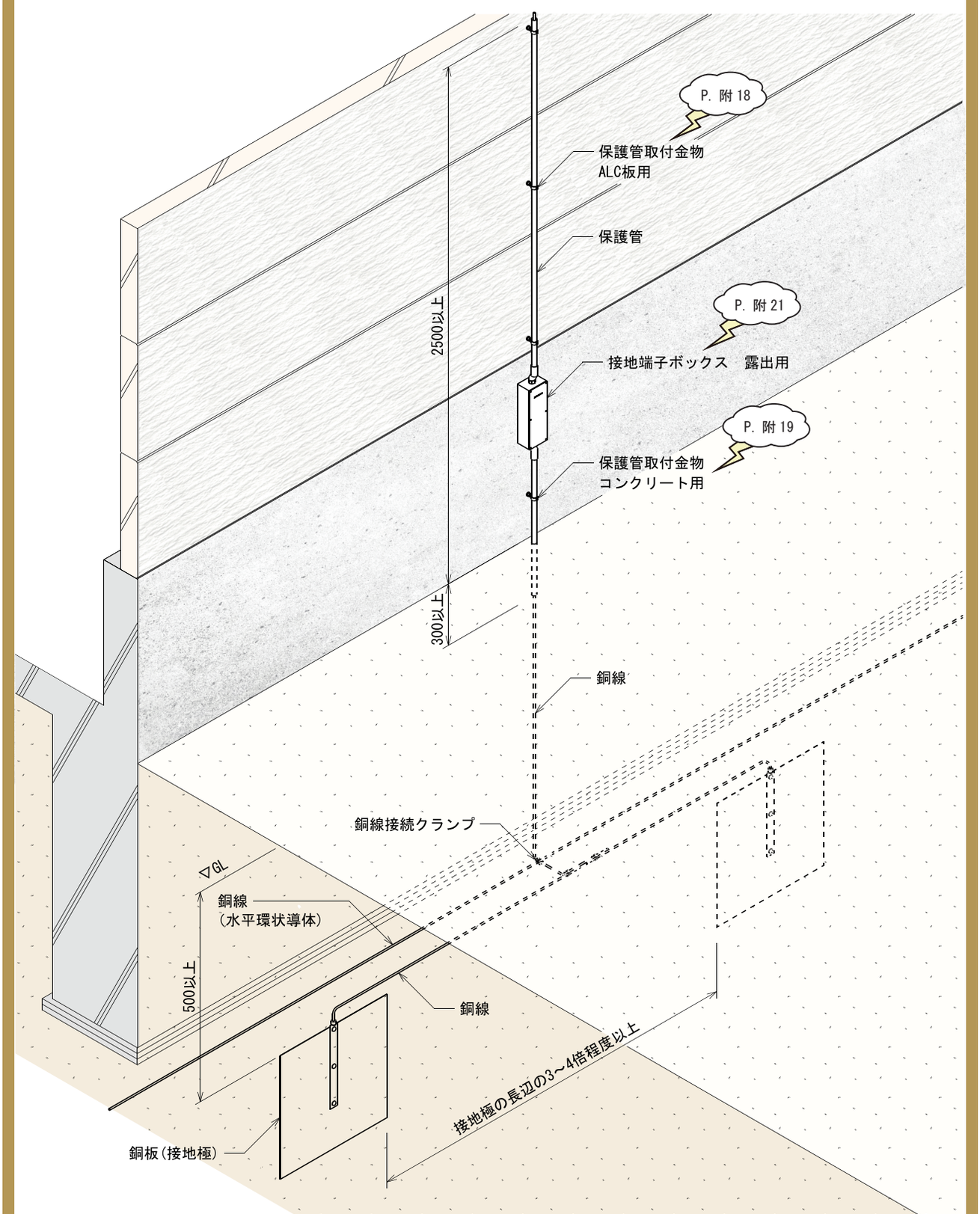
（１）取り付け間隔は、垂直1～1.5m以内とする。
建築仕上げ完了後、取り付け位置に下穴を開ける。

（２）ダストポンプ等を使用して孔内の切粉を除去する。
孔にコーキング剤を塗布し、コンクリートアンカーにより、保護管取付金物(下部)を取り付ける。

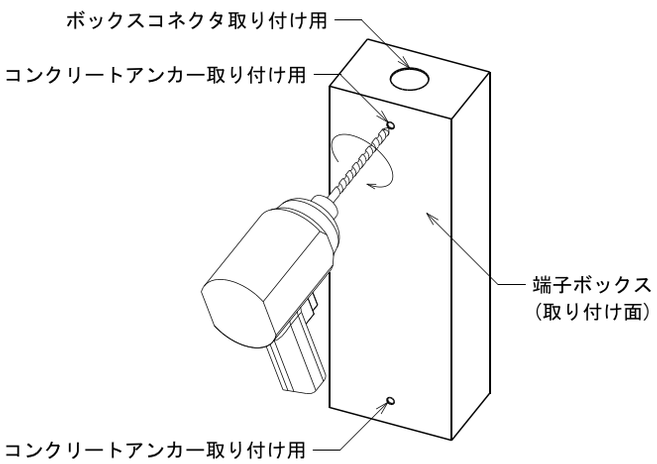
（３）保護管取付金物(上部)を取り付ける。

（４）保護管をバンドにて固定する。

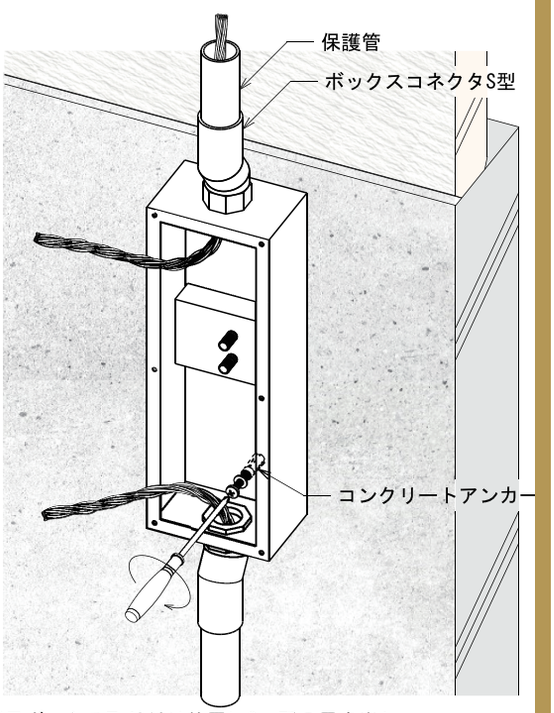




01 突針
カップリング
支持管
支持管 取付金物
支持管 取付台
支線
02 銅線
銅帯
03 アルミ線
アルミ帯
04 保護管
端子ボックス
05 接地極
標示板
06 附属資料
07 施工参考例



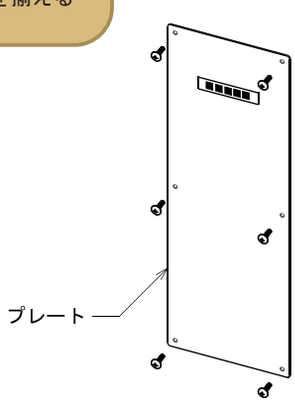
（１）端子ボックスの取り付け面にコンクリートアンカー取り付け用の孔を2ヶ所開ける。
ボックスの上下にもボックスコネクタ取り付け用の孔を2ヶ所開ける。

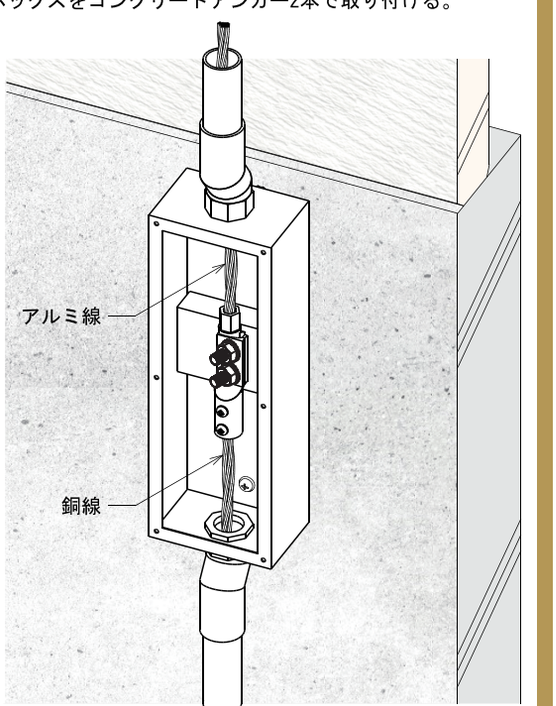


（２）端子ボックス取り付け位置に2ヶ所の墨を出し、
コンクリートアンカー用の下穴を開ける。
ボックスに、ボックスコネクタS型を取り付け、
保護管・アルミ線・銅線を挿入する。
ボックスをコンクリートアンカー2本で取り付ける。

ポイント

・墨出しは正確に行う
・他のボックスと取り付け高さを揃える





（３）端子ボックスの垂直を水平器で確認する。
接続端子にアルミ線、銅線を接続し、
端子ボックス内に固定する。